
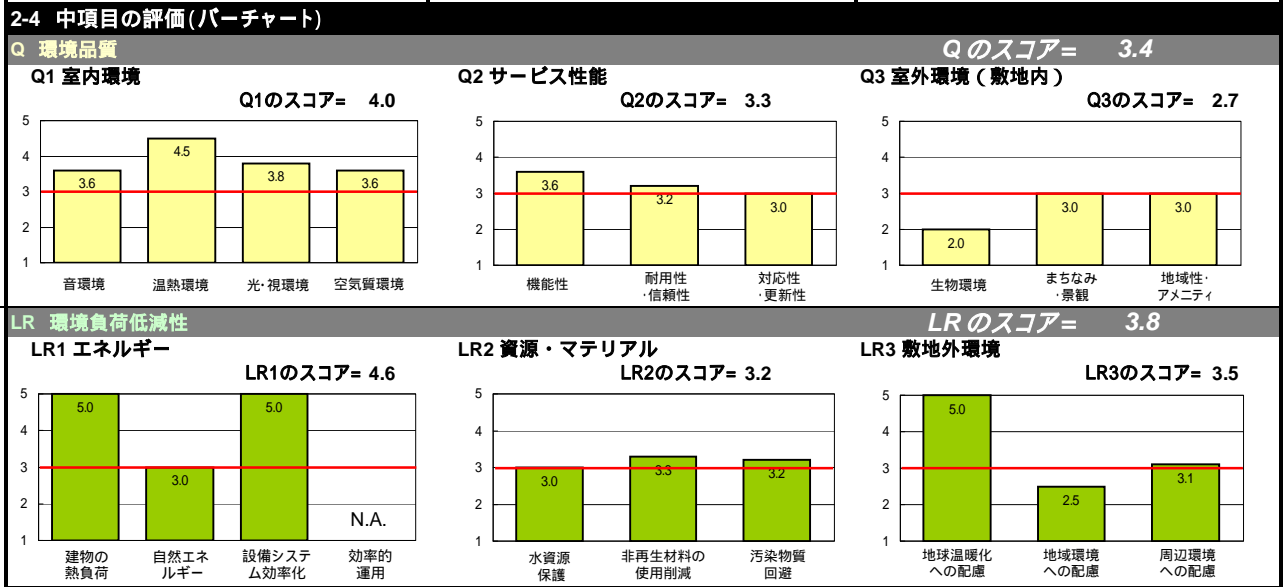
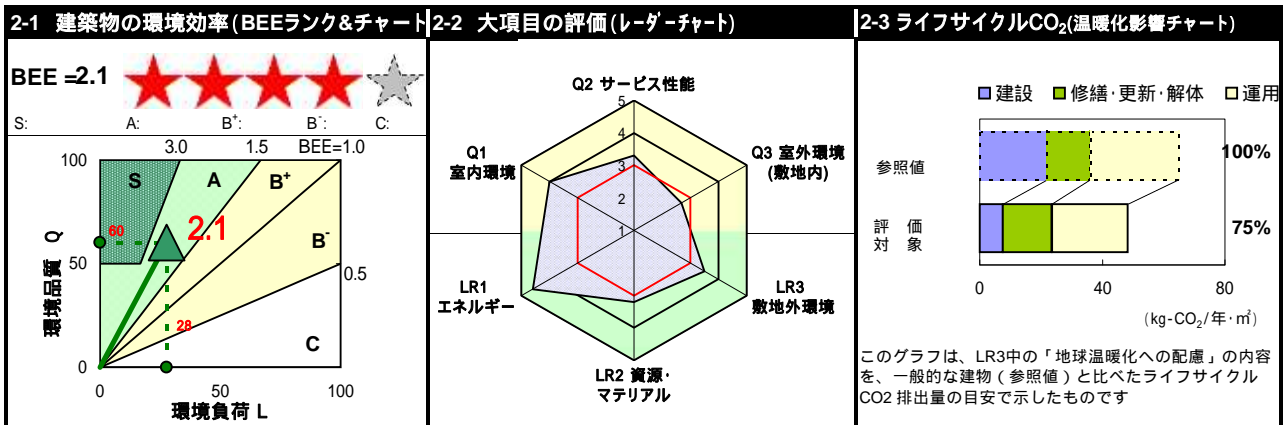


CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	リーフィアレジデンス中央林間計画	階数	地上9F		
建設地	大和市中鶴間字甲十号1595番1	構造	RC造		
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	253人		
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760時間/年		
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2012年9月 予定	評価の実施日	2011年5月31日		
敷地面積	2,367 m ²	作成者			
建築面積	1,007 m ²	確認日	2011年6月10日		
延床面積	5,278 m ²	確認者			



3 設計上の配慮事項

総合	その他	
周辺環境と調和の取れた計画。	住戸のサッシュは防音サッシュを採用し住環境の向上を図る。	
Q1 室内環境 高い断熱性の確保、遮音性の確保。	Q2 サービス性能 通信・情報設備の充実。	Q3 室外環境(敷地内) 1階住戸前は芝張りとし敷地周囲も緑化に努める。
LR1 エネルギー 高い断熱性の確保。	LR2 資源・マテリアル リサイクル材の使用による再利用効率の向上	LR3 敷地外環境 駐輪場と駐車場を多めに確保し、周辺地域への影響を低減。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい